

ノトリは、5月産卵、6月孵化、8月巣立ちと、ひなが順調に成育しています。1羽目が雄で、2羽目が雌と判明しました。一般公開は7月23日から再開し、再開後の来場者数は、8月26日現在千378人です。ひなが元気に巣立ちを迎え、市民に素直に喜んでいただいていることから、自然再生や生物多様性への取り組みに一層の理解が深まり、広がっていくことを期待しています。



順調に育つ2羽のひな

5月に国土交通省は、利根川・江戸川河川整備計画を公表しました。利根運河等では、コウノトリ等を指標とした場合の水辺環境の保全・再生等を行い、エコロジカル・ネットワークの形成を推進すると明記しています。

コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラムでは、8月26日、当市と5市が国土交通大臣、環境大臣などに「関東地域エコロジカル・ネットワーク形成によるコウノトリ・トキの舞う魅

力的な地域づくり」の推進に關する要望書を提出しています。

中心市街地の再活性化と買物弱者対策の実施

8月8日に「中心市街地再活性化のための商店街のあり方検討会」を立ち上げました。空き店舗などの現状を踏まえ、商店会で何をすべきか議論します。

◆の元気市場 イトーヨーカ堂の再出店が予定されますが、元氣市場の利用客は、徒歩以外に交通手段を持たない方が多く、あの場所が買物弱者対策に重要と考えます。ポイントカード導入や日用品販売、夏季期間の営業時間延長など、来客数増と売上向上につなげていきます。

◆郊外部での移動販売 客数は減少傾向です。「買物できて助かっている」との声もあり、今後買物弱者対策を推進します。

次期総合計画の策定と新市建設計画の確実な実現

◆総合計画の策定 本年度は、市民や総合計画審議会委員の皆さんからの意見や提案等を整理し、次期計画の骨格案作成を予定しています。4月からは、実施に問題点や課題があると思わ

れる意見や提案等で、市の考え方も示して議論を深めていただきました。8月からは、策定方針や人口フレーム、土地利用の方向等を検討いただき、骨格案を取りまとめしていきます。

◆小中学校の耐震補強工事 校舍7棟は、夏休み中に内部の補強工事を完了し、工期内完成を目指し工事を進めています。

体育館3棟は、プレス補強や外装工事を行い工期内完成を目指していますが、宮崎小体育館は、既存の基礎の補強で工期延長が必要となり、学校行事等への影響を最小限にすべく、学校と連携し工事を進めます。



耐震化が完了した東部小学校校舎

◆川間公民館の改築 2回の建設検討懇談会で、現公民館から東に約90メートル離れた駐車場と隣接地を建設候補地としました。敷地面積や建物の規模等を検討していただき、10月には中間報告をいただく予定です。

都市基盤・生活関連施設の整備

◆連続立体交差事業 5つの工区に分け、北側の第1工区は、県柏土木事務所や市、東武鉄道株式会社との共同で、8月9、11日、沿線住民の皆さんに工事概要などの説明会を開催しました。鉄道隣接の家屋を調査し、10月ごろから工事に着手する予定と聞いています。

◆次木親野井特定土地区画整理事業 都市計画道路親野井羽貫線の歩道の未整備箇所は、地権者の協力が得られ、工業地域の6街区と26街区の道路整備が今年度中に完了する見込みです。23年度以降、周辺の土地取引への影響等に配慮し保留地公売を控えていましたが、工業地域は一般住宅地の価格に影響が少ないため、公売を再開します。

福祉・医療・雇用の充実

◆保育所の耐震化 古布内保育所は、地元説明会を2回開催しました。事業者が建替工事の説明会を行い、10月に着工予定と聞いています。あなご保育所は、キッコーマン総合病院北側の空

き地を市が借りて、社会福祉法人コピートンシオに再貸付けし、民設民営で整備します。8月20日に保護者会に説明し、ご理解いただきました。26年2月に園舎建設工事を始め、11月から新設保育所として運営する計画です。昨今の待機児童が0歳児に多く発生しているため0歳児を受け入れ、休日保育や20時まで

の延長保育も継続する予定です。現在のあなご保育所は、26年10月末で指定管理を取り消して市が更地にし、民設民営の保育所の新設も検討します。

◆国民健康保険事業運営 24年度決算は、医療費の伸びが前年度比でやや増加したものの、国の特別調整交付金の交付などで実質収支額が黒字となりました。本年度は剰余金や財政調整基金を活用し事業運営できる見込みで、26年度は半年分の実績が判明する10月以降に収支見込みを作成し、対応を審議いただくよう8月21日の国民健康保険運営協議会でお願ひしました。

◆生活困窮者自立促進支援モデル